

令和 8 年 6 月 3 0 日
文教・福祉常任委員会資料
教育部生涯学習課

令和 7 年度宇治市総合野外活動センターの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第 1 1 条に基づき、別紙のとおり報告いたします。

令和 7 年度 事業報告書

令和 8 年 5 月 3 0 日

施設名	宇治市総合野外活動センター
団体名	公益財団法人 宇治市野外活動センター
代表者名	代表理事 杉本 厚夫
指定管理期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日（5 年間）

（１） 業務実施状況報告（令和 7 年度）

【管理運営に関する基本方針と結果について】

当法人は令和 4 年度からの 5 年間、指定管理者として宇治市総合野外活動センター運営を受託している。

お客様がアクトパル宇治を創り育てる人となっていただけるよう、Make it together をキーワードにして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう次の 3 つのミッションを柱とした事業を展開した。

○豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。

○自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。

○地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。

令和 4 年度より導入された利用料金制度を自立した経営力を発揮するチャンスととらえ、お客様のニーズに合わせたオンライン予約の導入やオートキャンプエリアの拡張、予約不要エントの追加開催等、収益増に向けた取り組みを進めるとともに、各種委託業務契約の内容や利用申請手続きの見直し等、必要経費の削減にも努めてきた。

また、学生団体や民間事業者との連携事業、さらには外部補助金を活用したイベントの開催など、新たな試みにも積極的に取り組み、利用者層の拡大と施設の認知度向上に努めた。

施設管理においては経年による消耗・劣化箇所の点検修理を実施、緊急的な修繕も適宜実施し、お客様に安心安全にご利用いただけるよう努めた。

有限会社笠取ファームとは連携を密にし、イベント協力や新規メニューの販売等、必要に応じて協議の場を設けた。

その結果、年間総利用者数は 96,163 人となり、前年度実績をわずかに下回ったものの概ね

前年並みを維持した。また、利用料金収入は約 3,483 万円となり、前年度比約 15 万円の増収となった。

一方で令和 7 年度においても社会情勢の影響により電気料金が予算額より大幅に値上がりしており、当初予算比で約 290 万円の支出増となった。光熱費の高騰や最低賃金上昇による人件費の負担増が収支に大きな影響を与えることになったため、宇治市とのリスク分担協議の結果、令和 7 年度は指定管理料を約 480 万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

今後も利用者ニーズを的確に捉えた事業展開と効率的な施設運営に努め、さらなる利用促進と収益力向上を図っていく。

【施設の平等利用の考え方と実施した対策について】

誰もが公平・平等に施設を利用し、自然の中で野外活動を体験できるようユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施設運営を行うとともに、関係法令及び宇治市の関係例規を遵守し、施設の公平、平等利用に努めた。

- ・多目的トイレに洗浄機能付き便座を設置した。
- ・小さなお子様や車いすをご利用の方にも身近にグラウンド・ゴルフを楽しんでいただけるよう、子ども用クラブ、車いす用クラブの利用を案内し、幅広い利用を促進した。
- ・施設内の移動が困難なお客様には車いすの貸出しや、車両での施設内送迎を行った。
- ・障がいがあるお客様や体の不自由なお客様、アレルギーをお持ちのお客様等がより快適に食事、宿泊、体験活動などを行えるよう、予約の段階からご要望の聞き取りや打合せを行い、安心してご利用いただけるように努めた。
- ・予約不要、参加無料で誰でもご参加いただける事業を定期的で開催し、施設をより多くの方にご利用いただき、野外活動に親しんでいただく機会を提供した。

【利用拡大の取組結果について】

[令和 7 年度の取組]

- ・立命館大学の学生団体「Clown」の活動に協賛し、施設内にツリーハウスを設置するとともに、9 月 13 日には完成お披露目イベントを開催し、新たな魅力創出と施設の活性化に取り組んだ。
- ・お客様のニーズに対応し、宿泊オートキャンプ場の区画数を 4 組から 6 組へ拡大することで、受入体制の強化と利用機会の拡大を図り、利用促進につなげた。
- ・イベントや休日にキッチンカー出店機会を拡大し、食事提供のバリエーションを拡大した。
- ・結婚披露宴の実施を希望された利用者に対し、施設特性を生かした特別な利用プランの提案及び運営支援を行い、利用者ニーズに柔軟に対応したサービス提供に努めた。
- ・日帰り炊事棟利用のオンライン予約を開始した。

- ・トヨタカローラ京都と連携し、ストライダー体験会を開催した。
- ・単品、貸出物品メニューを追加し、お客様利便性の向上を図った。
- ・工作棟の空き状況に応じて、工作棟オープンデーを臨時開催した。
- ・ワーケーションとキャンプを組み合わせた「ワーケキャンプ」の開催に向け、事業者の誘致を行い、新たな利用形態の創出と利用の促進に取り組んだ。
- ・独立行政法人国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金」を活用し、小学生を対象としたキャンプイベント「オータムキッズキャンプ」を開催し、自然体験活動の機会提供と青少年の健全育成に寄与した。
- ・宇治市の「二十歳の集い」参加者にアクトパルの炊事棟利用クーポンを配布し、施設の周知と利用促進に努めた。
- ・宇治市のふるさと納税返礼品として、新たにオートキャンプ、森と星キャンプを追加した。

[継続的な取組]

1. 屋内施設においては、清潔な空間を維持できるよう施設管理を行った。
 - ・施設の各所に季節ごとの自然の草花等を配置し、清楚感を取り入れ日々の清掃にも注意を払った。
 - ・新型コロナウイルス感染症が5類移行後も安心してご利用いただけるよう、感染症の予防対策に取り組んだ(消毒液の設置、入所時の検温確認等)。
 - ・イベント開催にあたっては、状況に合わせて定員数や実施回数、内容の調整等、感染予防対策を徹底した上で実施した。
2. 屋外施設については、自然環境を大切にし、自然と一体となった施設管理を行った。
3. 施設を有効に活用した事業及び自然やふるさとを体験できる事業を開催した。
 - ・「お茶つき体験」「ふるさとを味わおう!」「星空とホテル観察」等の事業を実施した。
4. 申込不要で気軽に参加できる事業及び利用の減少する冬期の集客を目指した事業を開催した。
 - ・夏休み期間にも「わいわいホリデー」を開催し気軽に参加できるイベントや大浴場の日帰り入浴を提供した。
 - ・無料で天体望遠鏡での星空観察ができる「星空オープンデー」を開催した。
 - ・冬季の利用促進対策として「体育館であそぼう」「わいわいホリデー」を実施した。
 - ・「春まつり」「秋まつり」「アクトパルであそぼう」等の無料イベントで施設のPRを図った。
5. 農業や自然等、笠取地域の特色を生かした事業を開催し、地域の魅力を体験してもらうとともに地域住民との交流の機会を設けた。
 - ・「お茶つき体験」「ふるさと体験(稲刈り、椎茸菌打ち、餅つき体験)」「じゃがいも掘り」「さつまいも掘り」「ふるさとハイキング」等を企画した。
6. 宇治市総合野外活動センター主催のグラウンド・ゴルフ大会を月例で開催した。
7. 様々な利用形態の受け入れ

- ・宇治を舞台にしたアニメ「響け！ユーフォニアム」の影響で来場される方向けに、案内ポスター等を設置した。
- ・ドローン講習会の会場として広場の使用を許可した。
- ・結婚式、披露宴の会場として施設をご利用いただけるよう調整・案内した。
- ・宇治市立図書館と連携し、予約図書受取所としてアクトパル宇治配本所サービスを提供した。
- ・宇治市内公民館でのイベントに出店し、施設外で工作プログラムを提供した。
- ・伝統的な鯉のぼり保全活動団体「青仁会」の活動に協賛し、施設内に鯉のぼりを展示した。
- ・宇治市のふるさと納税返礼品として各種宿泊券を提供した。

【利用料金収入の結果について】

利用者数全体では前年並みで推移した一方、最終的な利用料金収入は約 3,483 万円（当初予算比マイナス約 348 万円、前年度比プラス約 15 万円）となった。

[利用料金収入]

令和 4 年度 約 2,640 万円
 令和 5 年度 約 3,395 万円
 令和 6 年度 約 3,469 万円
 令和 7 年度 約 3,483 万円

【自主事業に関する取組結果について】

1. 食堂・売店運営を笠取ファームに委託し地元特産物の販売や PR を行った。
 - ・食堂では地元笠取産の食材を使用した食事を提供した。
 - ・「春まつり」「秋まつり」「新春笠取市」等で野菜や特産物の販売を実施した。
 - ・食堂メニューとして「天井」「豚丼」を販売した。
 - ・鍋焼きうどんとグラウンド・ゴルフをセットにした割引プランを提供した。
2. 宇治市内公民館、宇治市植物公園等で出張教室を実施し、工作プログラムを提供するとともに施設の PR を図った。
3. アクトパル宇治での結婚披露宴開催を希望されるお客様と利用について調整を図り開催した。
4. お客様の利便性を高めるため、キャンプグッズの有料貸出を追加した。
5. お客様のニーズに対応し、宿泊オートキャンプ場の区画数を 4 組から 6 組へ拡大することで、受入体制の強化と利用機会の拡大を図り、利用促進につなげた。
6. 常設テントの利用促進を図るため、特別プラン「森と星キャンプ」を提供した。展望デッキでの BBQ や電源の設置、春夏と秋冬で設備を入れ替え年間通して快適なキャンプ空間を提供した。

7. 食事提供のバリエーション拡大をはかるため、キッチンカーの出店機会を拡大した。 8. 公衆浴場営業許可を取得し、大浴場の日帰り入浴サービスを提供した。 9. 独立行政法人国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金」を活用し、小学生を対象とした キャンプイベント「オータムキッズキャンプ」を開催し、自然体験活動の機会提供と青少年 の健全育成に寄与した。	
【情報発信の取組結果について】	
1. 宇治市「市政だより」へのイベント開催予定の掲載をした。 2. 新聞各社へ自主事業等の掲載を依頼した。 3. FM うじ「宇治市探検」でイベント、施設紹介をした。 4. 宇治市総合野外活動センターのホームページにより、宿泊等予約情報やイベント情報案内の 配信をした。 5. メールアドレス登録者に対して、メール配信により情報提供した。（令和 8 年 3 月現在登録 者数約 3,500 人） 6. 雑誌等の取材に積極的に協力し、『まっぷる』『ファミリーウォーカー』『じゃらん』『クルー ール』『ワイヤーママ』『Leaf』『Living 京都』等に施設紹介記事が掲載された。 7. 「観光宇治」（宇治市観光協会発行）にイベント情報を掲載した。 8. SNS（Instagram、X、Facebook）を毎日更新し、施設のトピックやイベント情報等の発信を 行った。（令和 8 年 3 月末現在 Instagram 1,958 人、X 1,295 人、Facebook 648 人） 9. テレビ番組取材に協力し、施設を PR した。 10. ホームページ上で、施設予約状況を公開した。 11. Web 情報サイト（号外ネット、ALCO、きょうとくらす）に情報提供しイベント情報を掲載い ただいた。 12. 近隣のアウトドアショップ等にご協力いただき、店頭で施設パンフレットやイベントチラシ を配架した。	
【管理運営体制等について】	
[職員体制]	
1. 財団事務局長	1 人
2. 財団事務局次長	1 人
3. 財団職員	1 人
4. 財団嘱託（常勤）	4 人
5. 財団管理嘱託（宿直）	4 人
6. 臨時職員	7 人

〔職員研修計画と実施状況〕

1. 職員研修の実施

- ・ アウトドアイノベーションサミット、キャンプライノベーションサミット
- ・ 公益法人向けセミナー（経理、法改正対応）
- ・ 接遇、マネジメント、DX 研修
- ・ キャンプ指導者スキルアップ研修
- ・ 日常研修：毎朝のミーティング時に実施

2. 職員取得資格

- | | |
|------------------|-----|
| ・ 危険物取扱者免状 | 3 人 |
| ・ 甲種防火管理講習修了証保有者 | 2 人 |
| ・ 学芸員資格 | 1 人 |

【地域との連携、市民参画の結果について】

1. 地域：地域との交流、連携、貢献を大切にし、地域振興の拠点となるよう努めた。

- ・ 「秋まつり」「笠取市」等のイベントで「地元農家」「笠取小学校」に協力を仰ぎ、出店・展示していただいた。

2. 関係機関：市内の小中学校、幼稚園及び保育所との連携に努めた。

- ・ 市内各小学校の「林間学習」を効率よく実施するため、代表校と日程の調整や合同説明会を実施した。
- ・ 笠取小学校の授業や自然観察活動の一環で、施設をご利用いただき、また秋まつりやツリーハウスイベント開催にもご協力いただいた。
- ・ 山城教育局の「やましろ未来っ子サイエンスラリー」に協力し、自然観察イベントで連携した。

3. 団体：（有）笠取ファームと連携し、地域の活性化に努めた。

- ・ （有）笠取ファームに、宇治市総合野外活動センターの植栽管理及び清掃作業を委託し、清潔感と開放感あふれる環境を維持した。また、食堂においては冬季限定の「笠取鍋」や一人用鍋で「鍋焼きうどん」「釜めし」を提供した。
- ・ 食堂では地元産の米を使用し、売店でも地元産の米や野菜、果物の販売を行った。その他、不定期で「笠取市」を開催し、笠取の魅力発信につなげた。

4. 登録団体等：ボランティア団体等の活動を支援し、宇治市総合野外活動センターの特性をアピールした。

- ・ 天文ボランティアと連携し、天体観察プログラムを実施することで、専門性を生かした体験機会の提供と利用者満足度の向上を図った。
- ・ 「宇治市野外活動協会」との協働によるキャンプイベント「親子 de キャンプ」を企画した。

5. 団体その他

- ・ eco ット宇治の活動に賛同し、「春まつり」、「秋まつり」に出展いただいた。
- ・ eco ット宇治と共同で、雑木林の再生をめざした「どんぐりプロジェクト」を実施した。
- ・ アルペンアウトドアーズ宇治店と相互集客に向け提携を結んだ。
- ・ 伝統的な鯉のぼり保全活動団体「青仁会」の活動に協賛し、施設内に鯉のぼりを展示した。

【トラブル対応、防犯、防災対策について】

1. トラブル対応

お客様の安全を第一に考え、接客、施設管理に努め、注意事項の喚起、施設保全を図った。

- ・ 施設内にできたスズメバチの巣を駆除した。
- ・ 安全管理のため、要修繕箇所について、適宜修繕を行った。
- ・ 一部不具合の出ていた電話設備の更新を宇治市予算で実施いただいた。
- ・ 熊出没の事例はないが、万一の対策として忌避剤の設置や熊除けスプレーを常備した。

2. 防犯対策

- ・ 職員の防犯に対する意識の向上に努めるとともに、夜間の施設内出入りについては極力無
いようお客さまに協力をお願いした。
- ・ 玄関、受付等に防犯カメラを設置し、モニター監視した。

3. 防災対策

- ・ 台風の接近時には、施設の安全点検や倒木撤去作業を行った。
- ・ 宇治東消防署の査察を受け、防火対策の確認を行った。
- ・ 日頃の点検を重視し、非常時に備え「災害対策体制」の確認を行った。
- ・ 火災を想定した自衛消防訓練を実施した。
- ・ アスレチック遊具の安全点検を実施した。(年 1 回実施)
- ・ 防火設備法定点検を実施し、不良箇所の修繕を行った。(年 2 回実施)
- ・ 熱中症予防にチラシ配布や放送での呼びかけ、温湿度計の設置を行った。
- ・ 高温注意情報、光化学スモッグ、食中毒注意報発令時に、放送やチラシで注意喚起した。
- ・ 新設したツリーハウスについて、学生団体による定期点検を実施するとともに、専門家による安全点検を行い、あわせて保険加入を行うなど、安全管理体制の整備に努めた。

【利用者要望の把握状況及び実施策について】

1. 日常の接客にあたり、会話を重視し、お客様の「声」を積極的に聴取した。

- ・ 宿泊退室時「ご利用に関するアンケート」に、意見を記入してもらい、参考にした。
- ・ 食堂メニューの改善要望に対して、(有) 笠取ファームとの協議を行った。
- ・ 現金以外の支払い方法に対応するため、令和 4 年度からクレジットカード、電子マネー等
が利用可能なキャッシュレス決済を導入しており、キャッシュレス決済利用率は約 29%と
なっている。

・令和４年度からグラウンド・ゴルフ愛好者に向けお得な利用回数券を販売している。 2. 各種事業の実施後、アンケートを実施し、お客様の声を事業に反映した。 ・WEB アンケートを導入し、回答・集計の効率化を図っている。
【サービス向上取組内容について】
・日帰り炊事棟利用のオンライン予約を開始した。 ・宇治市とも協議の上、施設の予約申請手続きの一部を簡便化し、お客様の手続き負担や郵便料金、事務作業の軽減を図った。 ・現金以外の支払い方法に対応するため決済システム（Air ペイ）を導入し、各種クレジットカード、電子マネー、QR で支払えるようになり、お客様の利便性に加えて、現金徴収、精算事務の短縮等の管理業務の効率が向上した。あわせてレジアプリも導入し受付事務の効率化を図った。また利用可能な決済事業者を追加し、より利便性を高めた。 ・予約不要の工作体験プログラム「つくってあそぼう！」「工作棟オープンデー」を実施した。 ・研修室においてワーケーション利用や企業や学校の会議スペースとしても活用できるようリモート会議の設備を整えた。また、事業者によるワーケキャンプ開催を誘致した。 ・山間地域で高齢者も多い笠取地域の皆様に気軽に利用いただけるよう、宇治市立図書館と連携し図書配本サービスを提供し地域サービス向上に貢献した。 ・宇治市子どもの読書活動推進委員会との連携事業として管理棟ホール図書コーナーを子ども読書コーナー「えほんの森」スペースとして整備しており、京都府の「豊かな森を育てる交付金事業」を活用したキッズハウスや絵本棚、子どもベンチ等を配置する等、利用者により一層読書を楽しんでもらえるよう環境の充実を図った。
【経費縮減・収支改善に関する具体的な方策と結果について】
1. 経常経費の縮減について ・こまめに電気を切り、お客様に対してもポスター等で節電・節水を呼びかけるなど、光熱水費の縮減に努めた。 ・電話通話料割引サービスに加入し、通信コストの削減に努めた。 ・電気料金が社会情勢の変化による影響で高騰し、節電に努めたものの当初予算額より約 290 万円の増額となった。 ・緑のカーテン（ゴーヤ）を設置し、クーラー利用の縮減に努めた。 ・各種契約の内容や回数の見直しにより経費を縮減した。 ・令和４年度に人員構成の見直しを行い、約 370 万円の経費削減を継続した。 ・施設利用予約手続きの簡便化を図り、郵便コストを縮減した。 2. 低コストの追求について ・利用頻度を考慮して、貸出備品を見直し、内容を整理して、維持コストの削減・作業の効率

化を図った。 ・ 値動き幅の大きい灯油は、2 か月ごとの契約更新とし、価格変動に対応した。
【個人情報保護措置と実施状況について】
個人情報保護法に基づき適切に対応している。 ・ 収集した個人情報については規則に基づき厳重に管理した。 ・ イベント申込等でお客様の個人情報を web 上で送信いただく際には S S L (Secure Socket Layer) を利用し暗号化した上で送受信した。(セキュリティ対策) ・ イベント案内や施設の最新情報を発信するメールインフォメーション送信時は、個人情報漏洩防止のため、専用メールリングソフトを使用した。
【情報公開対応と実施状況について】
令和 7 年度においては情報公開請求なし。
【その他】
特になし

(2) 施設利用状況報告（令和7年度）

【施設利用状況】 1. 入館（場）者数

宿泊利用者数・日帰り利用者数ともに前年をわずかに下回ったものの、概ね前年並みを維持し、年間利用者数は96,163人となった。

令和7年度 利用者数

（単位：人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
宿泊利用	24,655	30,450	30,335	29,963
日帰り利用	53,194	59,641	66,533	66,200
合計	77,849	90,091	96,868	96,163

【施設利用状況】 2. 貸館状況

令和7年度 施設別利用者数

（単位：人）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
宿泊施設	管理棟宿泊室	1,954	2,128	2,264	2,417
	宿泊棟宿泊室	18,061	23,888	23,006	23,070
	テント （フリーテントサイト日 帰り利用者含む）	3,728	3,358	4,321	3,862
	山の家	1,298	1,405	1,421	1,421
	合 計	25,041	30,779	31,012	30,770
その他施設	研修室	7,422	9,624	7,754	9,848
	体育館	15,225	18,208	16,141	15,472
	天体観察室	2,250	3,374	3,378	2,741
	工作棟	9,906	9,440	8,886	8,651
	野外炊事棟	20,918	23,578	25,122	23,182
	グラウンド・ゴルフ場	5,480	5,488	7,417	6,912
	合 計	61,201	69,712	68,698	66,806

(3) 管理経費収支報告（令和7年度）

（単位：千円）

施設名		宇治市総合野外活動センター			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	108,040	112,859		
	利用料金収入	38,312	34,834		
	その他	9,658	12,024	工作・体験事業 収入他	
収入合計（A）		156,010	159,717		
支出	人件費	82,050	82,316		最低賃金上昇による増
	事務費	9,283	8,733	租税公課 7,929 その他 804	
	管理費	59,039	63,692	修繕料 3,459 光熱水費 14,567 燃料費 1,812 委託料 34,013 賃借料 4,768 その他 5,073	光熱費高騰による増
	事業費	5,638	4,904	ボランティア報償費 1,106 事業材料費等 3,798	
	その他				
	支出合計（B）	156,010	159,645		
収支（A）－（B）		0	72		

実績における市からの委託料（112,859 千円）は、最低賃金の上昇による影響分、光熱費の高騰等に対してリスク分担に基づき、委託料を増額して対応を行った後の金額

(4) - 1 事業実施状況報告 (令和7年度)

※事業＝公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特になし		

(4) - 2 事業収支状況報告 (令和7年度)

団体名 公益財団法人宇治市野外活動センター

(単位: 千円)

事業名	事業実施予算・決算等						
	参加人数と 1人あたり 参加費	収支 (A) - (B)	収入		支出 (B)		
			市からの 委託料	参加費 (A)	講師 謝金	材料費 等	その他
特になし							
計							

※ 各欄上段=予定額、下段=実績で記入すること